

## 支撐父母一代安度晚年 —以遗华孤儿为对象的日服务设施《故乡》诞生—

あやせだい ろうご ささ きこくしゃ でいさーびすしせつ ふるさと たんじょう  
親世代の老後を支える—帰国者のためのデイサービス施設「故乡」誕生—

您知道什么是“日服务”吗？在护理保险制度下，接受并通过需护理认定（※注）的人，就可以前往日服务设施，享受设施提供的餐饮等日常生活上的援助。日服务设施可以说是一个能够当天往返的修养・休憩场所，同时也是一个进行健康管理的场所。



“故乡”的广告牌

1月26日，在东京都练马区内的公营住宅一角，诞生了首都圈第一所以遗华孤儿为对象的日服务设施。（接下页）

「デイサービス」について知っていますか。介護保険制度の下、要介護認定（※注 釈）を受けた人はデイサービス施設に通って食事など日常生活上の援助を受けることができます。日帰りで利用できる憩いの場、健康管理の場と

いっていいでしょう。  
1月26日首都圏で初めて中国帰国者を対象にしたデイサービス施設が、東京都練馬区内の公営住宅の一角で産声を上げました。中国語医療ネットワークの石川宏医師他、帰国者2世3世の専門スタッフや支援者が設立に奔走しました。（次頁に続く）

(接前页) 汉语医疗网的石川宏大夫, 以及遗孤第二、三代专职人员, 为此设施的成立四方奔走, 立下了汗马功劳。这所设施凝聚着第二、三代遗孤渴望通过自己的力量来支撑父母一代安度晚年的情怀。另外, 作为护理支援事业, 这所日服务设施于(财)中国残留孤儿援护基金来说, 亦是第一个接受启动资金发放的单位。

那一天, 在正式办公纪念仪式上, 以练马区政府、当地志愿者团体为首的各阶层支援者, 不分官民, 纷纷赶来出席了纪念仪式。房间中央的桌子上摆满了为今后用餐的受护者准备的各色中国及日本菜肴, 看上去宛若一场试餐大会。想象着受护者围坐在桌边, 享用从健康角度出发烹饪出来的美食, 相信每一个人都能感觉到温馨。最里面的房间还配置了让那些腿脚不方便的老人能够安心沐浴的洗浴设备, 并提供车辆接送服务。

据说“故乡”随时接受愿意前来参观的受护者(练马区居民)。同时, 您要是渴望享受日服务, 可又不知道怎么办理需护理申请手续的话, 敬请放心地向“故乡”咨询并商谈。

问询处: NPO 法人汉语医疗网 日服务故乡  
〒177-0041 东京练马区石神井町  
1-1-35-103 (南田中团地内)  
电话: 03-6767-3331 / 传真: 03-6767-3332

作为与“故乡”相同的设施, 在长野县饭田市内有一所养老院, 名为“亲近的街区你好”。

问询处: NPO 法人面向中国遗孤的护理・福祉之会  
〒395-0807 长野县饭田市鼎切石 4010-1 号  
电话: 0265-24-2180

※需护理认定 乃一种制度。是由专家来公平判定那些希望接受护理服务的人是否能够享受护理保险; 还有需要什么程度的护理等具体事宜。(H)

(前頁より) 1 世の老後を自分たちで支えていきたいという 2 世 3 世の思いが込められています。また、(財)中国残留孤儿援护基金にとっても、介護支援事業として初めて開業資金の援助を行うケースになりました。

この日の開所式では練馬区役所、地元ボランティア団体をはじめ、官民の垣根を越えてさまざまな立場の支援者が駆けつけました。部屋の中央に置かれたテーブルの上には、今後利用者が食することになる中国料理や日本料理が並んでいます。さながら試食会のように、おいしく健康に配慮した料理を囲む利用者の姿を想像して、誰もが温かい気持ちになりました。奥には足腰が弱くなった人も安心して利用できる入浴設備などが整っていますし、車での送迎サービスもあります。

「故郷」は随時利用希望者(練馬区在住者)の見学を受け付けるそうです。利用したいが要介護認定の申請方法がわからないという人も、気軽に相談してみてください。

問い合わせ先: NPO 法人中国語医療ネットワーク デイサービス故乡  
〒177-0041 東京都練馬区石神井町  
1-1-35-103 (南田中团地内)  
電話: 03-6767-3331 / ファックス: 03-6767-3332

他に同様の施設としては、長野県飯田市内の在宅老所「ふれあい街道ニイハオ」がある。

問い合わせ先: NPO 法人中国帰国者等のための介護・福祉の会  
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 4010-1 番地  
電話: 0265-24-2180

※要介護認定…介護サービスの利用を希望する人が介護保険の対象となるかどうか、またどのぐらいの介護を必要とするかを専門家が公平に判定するもの(H)

